

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・埋蔵文化財発掘事業発掘開始
- ・児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動
- ・厚真町ならではの放課後事業
- ・4月定例教育委員会報告
- ・さわやか町民登山会
- ・自治会対抗パークゴルフ大会の開催について
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

## 埋蔵文化財発掘事業 厚幌ダム遺跡群、最終年度の発掘が始まる！

今年の発掘調査は5月11日から始まり、平成14年度からの厚幌ダム建設事業の遺跡発掘調査も、今年度をもっていよいよ最後の1年となりました。すでに竪穴式住居跡や縄文人が掘ったシカ猟の落とし穴の窪みや掘り上げた土も見ており、十勝石(黒曜石)のカケラもたくさん出土しています。

発掘現場はいつでもどなたでも、見学できますのでダム湖となる幌内の山奥での発掘調査現場、この地域の風景を見学には是非ともお越しください！より多くの方々の「記憶に残る遺跡、発掘現場」を目指して、発掘調査の作業員一堂、皆様をお待ちしております。  
シヨロマ1遺跡発掘現場 0145-29-5511  
メールアドレス atsuma.hakutsu@bz01.plala.or.jp



↑ 最初に行われる遺跡地層面の清掃作業

## ゲーム、 休んでみませんか？

昨年の子どもたちの生活アンケートなどから、テレビやDVDを1日2時間以上利用している小学生は50%、中学生は30%、ゲーム機を2時間以上利用している小学生は15%、スマホを2時間以上利用している中学生は15%という実態が浮かび上がりました。

このような実態から、基本的な生活習慣の定着のためには、テレビやゲーム、電子メディアの長時間利用を改善する必要があることが読み取れます。

厚真町教育委員会では、毎月の第1日曜日と第3日曜日を、ゲームをお休みする「ノーゲームデー」と設定しています。大人も子どももゲームを控えて「家族の団らん」や「体験学習」、「読書活動」の時間を持つように心がけましょう。

家庭・地域をあげて、この取組にご協力をお願いします。

### 児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動

平成27年度～平成29年度

毎月第1・第3日曜日は、

### 「ノーゲームデー」

毎月、第1・第3日曜日は、大人も子どもも、ゲームをしないで「家族の団らん」を大切に「体験活動」や「読書活動」に親みましょう。



「向上運動」は、北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会が進める「どさんこアウトメディアプロジェクト」と連携して進めています。

厚真町教育委員会・厚真町小中学校・厚真町PTA連合会

# 特集 厚真町ならではの放課後事業

新緑の季節になり、夜になるとカエルの大合唱が聞こえてきます。雪の少なかった昨冬。田畑の水は足りるのか？と少し心配していましたが、田んぼには例年より早めに水面が張られ、田植えも順調に進んでいるようで一安心です。

さて、本コーナーでは、教育委員会が提供している「厚真町ならではの放課後事業」について特集でご紹介します。

皆さんの小学生時代の放課後といえば、どのような生活だったでしょうか？学校から帰ってきたら、宿題そっちのけでランドセルを玄関に放り出し、近所の田んぼや空き地、路上などで、虫採り、雪遊び、陣取り、集団遊び、運動、おままごとなど…多くの仲間と一緒に、暗くなるまでいろいろな遊びを経験した方も少なくないのではないのでしょうか。世代や地域によっては家の仕事のお手伝いをしたり、スポーツ少年団や学習塾などに通っていた方もいらっしゃるかもしれません。



放課後は、こどもの1日の生活の中で比較的長い時間を過ごす時間帯ですから、「放課後をどう過ごすか？」が、子どもの発達やその後の人生に与える影響は少なくないと言えるでしょう。

かつて地域の放課後には、子どもたちが自由に遊べる豊かな環境がありました。子どもの興味をそそる田んぼや畑、森や川、池などの身近な自然、自由に遊べる近所の空き地といった物理的環境もそうですし、一步屋外に踏み出せば異年齢の子どもたちの遊び仲間という人的環境もありました。遊び仲間にはリーダー（ガキ大将）が存在し、子どもたちの一定のルールや秩序（上下関係等）の中で、さまざまな集団遊びが繰り広げられ、ときにはケンカをしたり、いたづらをして近所のおじちゃんやおばちゃんから叱られたり…といったことが自然なことだったと思います。

こうした豊かな放課後の経験から、「自ら工夫して遊びをつくるチカラ」「他者と協力するチカラ」「人間関係をつかっていくチカラ」など、その後の人生の糧となる基礎的な力が知らず知らずのうちに培われていたことを私たちは経験上よく知っています。つまり、放課後は、学校で学んだ知識や技術が実際の生活の中で生かされる場として、また、学びの原動力となる好奇心や興味・関心を育む重要な場として機能していたということが出来ます。

では、現在の放課後の現状はどうでしょうか？多少の地域差はあるものの、共働き家庭が増え、少子化の影響で兄弟も少なく、地域の中でも子どもの姿を見かける機会が少なくなっています。また、子どもたちが自由に使える場所や空間といえば公園くらいで、“安全”の観点から子どもだけで立ち入りできる場所は限られてきています。子どもたちの生活の中に生じた隙間には、学習塾や習い事、テレビや携帯ゲーム機等といった新しい選択肢が浸透し、その領域が今も拡大しつつあります。かつてあちこちに存在していた子どもが自由に遊べる空間や近所の子ども集団はほとんど見られなくなり、本来大切であるはずの“子どもの発達や成長にとって大切な経験を積む場”が減少し、放課後が大きく様変わりしています。

厚真町教育委員会では、こうした現状を少しでも改善し、子どもたちの放課後をより豊かなものへと充実させていくために、「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」を実施しています。

「放課後児童クラブ」は、共働き世帯が多くなる中で、家庭に変わって安全・安心な居場所や適切な遊びの環境を提供する事業として平成7年から開設しています。児童クラブは厚真地区、上厚真地区のそれぞれの児童会館で、ほぼ毎日（日曜、祝日、年末年始を除く）実施しており、小学1年生から6年生まで多くの子どもが利用しています。厚真町では、共働きの家庭に限らず、児童クラブを利用することができますので、登録率は厚真町全体で81%と他の市町村に比べ非常に高いことが特徴です（多くの自治体では共働き家庭以外の子どもは、学童保育の利用ができません）。

一方、「放課後子ども教室」は、子どもたちの健全な発達や成長を促すため、地域とともに豊かな体験活動を提供する

事業で、週4回日替わりで各小学校を巡回し開催しています。放課後や土曜日などに地域の方々の協力を得ながら、自然体験や集団遊びを始め、科学実験やモノづくり、運動・スポーツなど学童期の発達を促すに豊かな体験活動を年間約170回実施し、ほとんどの小学生が登録・参加をしています。

「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」は似たような名前の事業ですが、両事業がこれだけの規模と参加率で実施されている自治体は他になく、それぞれに固有の役割を果たしながら、厚真町ならではの子育て環境づくりに一役買っています。

今後も、子どもが豊かに育まれるまちをめざし、両事業を軸に教育・子育て環境の一層の充実を図っていきます。



## 試してみませんか…？スポーツ吹矢体験会

皆さん、スポーツ吹矢をご存知でしょうか。スポーツ吹矢は、5～10m離れた円形の的をめがけて息を使って矢を放ち、その得点を競うスポーツです。性別・年齢問わず誰でも手軽にでき、ゲーム感覚で楽しみながら健康になれるスポーツとして注目されています。今、地域で、職場や学校で、スポーツ吹矢が広まりつつあります。皆さんもこの機会に、是非体験してみませんか？

- ◆と き 6月7日【火】18時から  
11日【日】10時から  
(両日体験可)
- ◆場 所 総合ケアセンターゆくり  
1階 健康増進室
- ◆持ち物 上靴、飲み物
- ◆参加料 無料
- ◆問合せ・申込み 臼澤さん(表町)  
☎0145-29-7870



## 4月定例教育委員会

4月26日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

### ◆報告事項

各学校の教職員・児童生徒数について、修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について、英語授業研修会について、英語教育推進委員会小中連携部会について、パークゴルフ場オープンについて、厚真町特別講演会 文化財とまちづくりについてなど(6件)

### ◆議案

厚真町立中学校生徒資格取得支援(学びのチャレンジ支援)補助金交付要綱の制定について(1件)

### ◆その他

コミュニティ・スクールについて、海外修学旅行について、グループ業務分担表・年間業務管理表について、北海道厚真高等学校の存続に向けた支援について(4件)

★問合せ 教育委員会学校教育グループ  
Tel27-2494

### お詫びと訂正

厚真町マナビカレンダーでは「自治会対抗パークゴルフ大会」の日程を6月23日と掲載しておりましたが、諸事情により、6月28日【火】に変更することになりました。関係者の皆様にはご迷惑をお掛けしました。お詫びして訂正します。

## 自治会対抗パークゴルフ大会

教育委員会では、夏の自治会対抗パークゴルフ大会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- ◆と き 6月28日【火】午後6時 開会式
- ◆と ころ 新町町民パークゴルフ場
- ◆参加料 無料
- ◆申込み 6月17日【金】午後5時まで
- ◆その他 チーム編成等の詳細については、自治会回覧文書をご覧ください。
- ◆問合せ 教育委員会 社会教育グループ  
Tel27-3775(スポーツセンター)

## さわやか町民登山会

自然に親しみながら体力づくりができる登山にチャレンジしてみませんか？

- ◆と き 7月3日【日】  
午前6時45分 総合福祉センター前集合  
午後6時00分 帰着予定
- ◆行き先 風不死岳(千歳市)
- ◆持ち物 ザック、昼食、副食類、雨具及び防寒着、水筒、軍手、ゴミ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
- ◆服装等 行動に適した服装。靴は登山靴または運動靴で履き慣れたもの。
- ◆定 員 30人(小学生は保護者同伴)
- ◆参加料 記念品及び保険料等(当日の朝徴収)  
大人(中学生以上)1人500円  
子ども(小学生)1人300円
- ◆その他 雨天の場合は中止(当日の朝決定)
- ◆申込み 6月21日【火】まで電話等で申込  
教育委員会社会教育グループ  
Tel27-3775(スポーツセンター)

# 図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

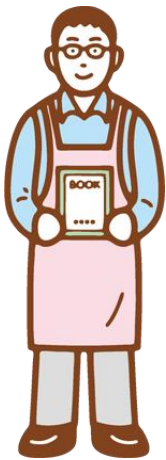
## 返却し忘れの本、ありませんか？

家の本棚に見慣れない本や背ラベルシールが貼ってある本はありませんか？

もしかしたらその本は図書室の本かもしれません。図書室では、返却期間が過ぎている方への督促業務を行っていますが、引っ越されたり連絡先の変更があったりと連絡がつかない方もおり、また延滞図書の数も多く困っています。現在延滞しているかどうかの確認は、カウンターの他にも、貸出の際にレシート下部にも現在貸出し中の本が記載されています。ご確認ください。

お掃除や模様替えなどの時、本棚に厚真町図書室のシールが貼ってある本がございましたら、青少年センター、または厚南会館まで返却をお願いいたします。青少年センター入り口前には返却ポストも設置していますので、夜間、祝日などはポストをご利用ください。

利用者の皆様のご協力をお願いいたします。



今なぜか気になる本  
熊嵐 (クマアラシ)  
吉村昭著



所在：文庫コーナー

大正初めに現在の苫前付近で起きた「三毛別熊事件」。この本はこの事件を基にした小説です。10年ほど前に何の気なしに読んでしまい、始めはその迫力におお…となりましたが、時折（特に冬）なぜだか読みたくなり手に取ってしまう小説です。

最近読みなおしたきっかけは、日露戦争後の北海道が舞台の「ゴールデンカムイ」というマンガです。この話にはヒグマが良く出てきて生身の主人公と闘うのです。残酷な描写も多いのでおすすめはできませんが、アイヌ文化の丁寧な描写が評判です。2016年マンガ大賞を受賞しました。

※このマンガは図書室にはありません。



## 青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～  
「初夏の星空」

晴れていれば天文台で実際に星を観察しますので、ぜひご参加ください。

(当日は、土星・火星などを観察できます。)

とき 6月29日(水)午後6時30分

ところ 青少年センター2階プラネタリウム室・天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。



お問い合わせは…

教育委員会 社会教育グループ

TEL 27-2495

までお願いします。



# 新着図書紹介



平成28年 5月27日発行  
ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

## 一般書

『防諜捜査』

今野 敏/著



たくさんの人気シリーズを生み出している今野敏。今回は、「アクティブメジャーズ」の倉島警部補が主人公で、公安捜査官の維持とプライドがぶつかり合う小説です。

- ・ソウル行き最終便 安東 能明/著
- ・伊達の企て 近衛 竜春/著
- ・辛夷の花 葉室 麟/著
- ・サブマリン 伊坂 幸太郎/著
- ・料理番 名残の雪 小早川 涼/著

## 児童書

『池上彰のみんなで考えよう』

18歳からの選挙』

池上彰/監修



選挙で投票できる年齢が18歳からになりました。投票に必要なこと、選挙の仕組み、やってはいけないこと、何を基準に投票を決めればいいのかを勉強しましょう。

- ・海底二万マイル ジュール・ベルヌ/作
- ・王子とこじき マーク・トゥエイン/作
- ・竜神王子 1~3巻 宮下 恵菜/著
- ・霧のなかの白い犬 アン・ブース/著

## 実用書

『ママ、もっと自信をもって』

中川 李枝子/著



「ぐりとぐら」の作者が、保育士時代の経験から現代のママたちへアドバイスを送ります。色々な子育て情報に振り回されず自分の子どもと向き合うことが大切とわかります。

- ・人としくみの農業 追手門学院大学ベンチャービジネス研究所/編
- ・北海道で育てるバラ 石渡 杏奈/著
- ・老後親子破産 NHKスペシャル取材班/著
- ・家庭という学校 外山 滋比古/著

## 絵本

『ピヨピヨおばあちゃんのうち』

工藤ノリコ/作・絵



ピヨピヨみんなで、おばあちゃんの家におでかけ。おやつをつくって、赤ちゃんのころのアルバムもみせてもらったよ！おばあちゃんのおうちでおるすばんできるかな。

- ・妖怪バス旅行 広瀬 克也/作
- ・ぞうちゃんとねずみちゃん 三浦 太郎/作
- ・うどん対ラーメン 田中 六大/作
- ・オニのサラリーマン 富安 陽子/文 大島 妙子/絵

## ~図書室からのお知らせ~

### ■6月の休館日

休館日はありません。

### ■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）  
午前9時から午後7時（火・木）

### ■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月~日）  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

### ■6月の移動図書

上厚真小学校

午前10時10分~25分

3、17、24日【金】 30日【木】

午前10時35分~50分

10日【金】

ともいき荘

15日【水】 午後2時00分~2時30分

### ■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー

23日【木】 午前10時30分~11時

# ☆放課後子ども教室☆

田んぼに水が入り、真っ直ぐ並んだ小さな青い苗が風に揺れています。美しい田園風景がつけられる季節が今年もやってきました。秋には美味しいお米が実るよう、大きく育ってくれることを願います。

4月後半の放課後子ども教室では、毎年恒例の山菜探しに出かけました。森の恵みを少しだけおすそわけしてもらい、ギョウジャニンニク、エゾエンゴサク、オオウバユリの根、タンポポなどを天ぷらにさせていただきました。子どもたちは「去年はこの辺にあつたはず」と山菜ハンターとしての才能を発揮。年々、経験値が上がっている様子を感じられるのはスタッフ冥利に尽きます。モノづくりプログラムでは、簡単マグネットづくりを実施しました。昨年度末、チャリティーのためにつくったマグネット。やはり自分で作ったものを持ち帰りたかったという声が多かったので、今度は子どもたちが自分のために使える分を作りました。ビーズをつけたり、絵を描いたり、好きな形に切り取って。思い思いに作ったものを、持ち帰る子どもたちはとても嬉しそうでした。



放課後子ども教室では、5月の連休明けからいよいよ新1年生の参加が始まりました。背負うランドセルが大きく見えるピカピカの1年生は、笑顔の中にも緊張の色がうかがえます。自己紹介を取り入れたジャンケンゲームや、体を動かしながらコミュニケーションがとれる遊びをいくつかみんなで行いました。2・3年生が遊んでいる様子を見て、真似て遊んでいるうちに、1年生を包んでいた緊張感も少しずつほぐれていきました。一方、新しい仲間を迎え入れる立場の2・3年生は、色々なタイプに分かれます。いつも以上に大きな声でおしゃべりになる子。カルガモのひな鳥のようにスタッフの後ろについて歩く子。普段よりもささいなケンカが増え、足や頭やお腹が痛くて遊べないと報告に来る子が続出します。これらのほとんどは「私たちのこともちゃんと見て！」という子どもたちからのメッセージだと思っています。新しい子が入ると、スタッフの目はそちらの方に注意がいきがちです。何かあったときにサポートに入れるよう気にかけていることが多いからです。それを敏感に子どもたちは察知します。これは低学年だけではなく、高学年でも同じです。もちろん、上級生が下級生の面倒をみるという、縦の関係を活かす場面もつくっていきたくと思っていますが、いつも頑張ってくれている上級生が甘えられる余白も残してあげることが必要だと感じています。スタッフ間のコミュニケーションをはかりながら、どの学年の子どもたちにとっても居心地の良い居場所づくりに努めていきたいと思っています。

